

ふれあうナカマ 育む見守る



ふれあうナカマ 育む見守る



白銀の世界で必死に絵札を追いかけます

白川小学校には、今年で41回目となる「動くジャンボカルタ取り大会」があります。全校児童で、家族や自然などその年のテーマに沿った読み札(五・七・五音)を考え、それに合った絵札を高学年が大きな画用紙に描いていきます。色ぬりは、縦割り活動として全校児童で行います。みんなで作り上げていくのがジャンボカルタです。

完成した絵札を全員で見比べて、一番良い札を投票で決め、得点の高いゴールド札とします。絵札は、毎年使い継がれている肩ひも付きの段ボールの台紙に貼り、背負います。

大会は1月の寒空の下で行います。今年は24日です。自分たちが作った絵札を背負い、読まれた

動くカルタ

手作りし全力で取り合う

白川小

学校名 白石市立白川小学校
所在地 白石市白川津田大淵30
電話 0224(27)2103
校長 上原 徹
児童 56人



ぶち合わせ太鼓

白川小には伝統の「ぶち合わせ太鼓」があります。先輩たちから伝えられた思いをばちにこめ、学習発表会や地域の祭りで発表します。毎年11月下旬に6年生から5年生に引き継ぎます。大きな声を掛け合いながら、息を合わせて迫力ある太鼓の音を出すのはとても難しく、私たちもたくさん練習しました。大切にしていきたい伝統です。



次回は
折立小(仙台市)
米谷小(登米市)

上野山小

学校名 仙台市立上野山小学校
所在地 仙台市太白区上野山1の20の1
電話 022(245)0530
校長 堀江 孝浩
児童 483人



あいさつと清掃

上野山小では、あいさつ運動とごみ〇運動を行っています。あいさつ運動では、毎週火曜日にクラスごとに担当してあいさつをし合うことで、他学年と交流を深めています。ごみ〇運動は、毎月1回ごみを拾いながら登校し、地域をきれいにしています。活動を通し上野山小全体できずなを強め、地域の人とのふれ合いを大切にしています。



楽元の森で焼き芋体験をする子どもたち

上野山小学校には、自然がたくさんあります。それを代表するのは「楽元の森」です。楽元の森は、地域の皆さんが、ブランコやターザンロープなどを作ってくださり、楽しく元気に遊べる森になりました。月に1回、土曜日でも遊ぶことができます。

学びの場としても使われています。育てたサツマイモで焼き芋を作ったり、森で取った粘土で土器を焼いたり、いろいろな学年で学習しています。6年生は本年度、森の粘土で陶器作りを行っています。

また、近くの小中高や大学生を交えた音楽会、地域防災訓練、子ども会や町内会や市民センターのイベントなど、地域の皆さんにも楽しんでもらえるようになってい

「楽元の森」

遊んで学んで地域と交流

私たちは楽元の森の豊かな自然から、多くを学んでいます。そこで多くの人とふれ合うことで、さらに学びを深めることができます。これからも、学校と地域をつないでいく大切な場所として、大事にしていきたいです。



編集委員 田名部奈々、藤原蒼太、野田昂希、元木愛琉爽(5年) 吉野晃太、江頭美希、寺井十四秋、横尾莉子(6年)
指導教諭 山田健刀、佐藤光



編集委員 大野まひ、佐藤静紅、小野直太郎、大野凜、小野愛空、八巻羽琉、武田翔悟、菅野晃希(6年)
指導教諭 大谷航、安達美咲